

令和8年度

GXの推進と地域の産業政策

～経済と環境の循環から考える～

産業構造の転換によって、脱炭素社会の実現と経済発展の両立が世界の潮流となっており、自治体においても、GXの推進とともに事業者等と連携して経済の活性化を図ることが重要です。

この研修では、海外で広がっているグリーンリカバリーなどの考え方を踏まえ、環境と経済の好循環をつくる仕組みや考え方を理解し、産業振興につながる方策を考えます。

コーディネーター：京都大学大学院公共政策大学院 院長 諸富 徹氏



【諸富先生からのコメント】

いまや地域発展の成否は、脱炭素化が成功するかどうかにかかっています。企業誘致も、そこで将来、再生可能エネルギーによる100%の電力供給が可能かどうか判断材料になっています。では具体的に何をどうすればよいのか、脱炭素化を通じて地域発展を実現する方途を、本研修で皆様とともに考えたいと思います。

*「GX」とは？

産業革命以来の化石エネルギー中心の産業、エネルギー、交通の体系から、非化石燃料への転換、脱炭素製法の導入、温室効果ガスを排出しない交通モードへの転換によって脱炭素社会を構築する取り組みをグリーントランスフォーメーション(GX)といいます。

開催要領

日 程

令和8年11月25日(水)～11月27日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

環境政策や産業政策、企画等を担当する職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申込みください。

募集人数

30人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

14,600円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和8年10月15日(木)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途にメールで通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和8年

11月
25日(水)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～14:10

講義 我が国のグリーントランスフォーメーション政策について
経済産業省 GXグループ環境経済室

GXに基づく産業政策の全体像について、GXとは何か、その下でどのような産業政策が行われているか、お話しいただきます。

14:25～15:55

基調講義 GXを軸とした地域の産業振興

京都大学大学院公共政策大学院 院長 諸富 徹 氏

脱炭素社会に向けた取組と地域の産業振興について、その基本的な考え方や背景など、なぜ今GXなのかについてお話しいただきます。

16:10～17:40

講義 自治体の産業政策展開の手法

金沢大学融合研究域融合科学系 教授 佐無田 光 氏

自治体の産業政策の展開手法についてお話しいただきます。地域の資源を使いながら、新しく産業を創出するために今自治体は何をすべきか、グリーンリカバリーの視点も含めてご講義いただきます。

18:10～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25～10:35

講義 海外の交通政策から考える脱炭素社会に向けたまちづくり

関西大学経済学部 教授 宇都宮 浄人 氏

海外では、EUが示した「持続可能な都市モビリティ計画(SUMP(サンプ))」を基準に、脱炭素社会に向けたまちづくりが進められています。本講義ではSUMPを軸に、これからの交通政策とまちづくりのあり方をお話しいただきます。

10:50～12:00

事例紹介① 再生可能エネルギーによる地域経済循環と地域活性化

岩手県宮古市 エネルギー推進課

宮古市では、太陽光発電事業や地域新電力を活用し、再生可能エネルギーによる地域経済循環の実現に取り組んでいます。なかでも発電事業で得られた収益を再エネ事業や公共交通へ還元するなど、「宮古市版シュタットベルケ」による持続可能な地域経営を進めています。この時間は地域新電力を核とした脱炭素化と地域活性化の取組についてお話しいただきます。

13:00～14:10

事例紹介② 木質バイオマスによる脱炭素化と地域の活性化

高知県梼原町森林づくり脱炭素推進課 副課長 石川 智也 氏

梼原町では、木質バイオマス、水力、風力、太陽光など地域の自然エネルギーを有効に活用して、環境や経済における地域課題の解決に取り組んでいます。この時間は政府により環境モデル都市や脱炭素先行地域に認定されている梼原町の地域資源利用への取組についてお話しいただきます。

14:25～17:00

演習 GXを軸とした地域の産業政策

京都大学大学院公共政策大学院 院長 諸富 徹 氏

これまでの講義内容および先進事例をもとに、グリーンリカバリーを意識した政策展開への見直しや、地域の資源を活用し産業政策につなげる方策等について、グループで検討します。

17:00～

課外学習

令和8年

11月
26日(木)

9:25～12:00

演習・発表 GXを軸とした地域の産業政策

京都大学大学院公共政策大学院 院長 諸富 徹 氏

グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より講評等をいただきます。

12:00～12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和8年

11月
27日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。